

Reference D5

Japanese Utility Model Kokai No. 05-10243

Laid-opening date: 09 February 1993

Application No.: 03-83590

Filing date: 15 July 1991

Applicant: Hiroyuki NAKAMOTO (Mr), Tokyo

Title: Drink container

ABSTRACT

[Object]

This invention relates to a container in which the surface of a drink container is stuck with a seal whose color changes while sensing the temperature degree or coated with a paint-like color changing material of such function.

[Constitution]

The surface of a bottle (1) or a can (4) is provided with a temperature sensing, color changing seal (3) or a temperature sensing, color changing material (6). Otherwise the surface of a label (2) or a printed pattern (5) is provided with such temperature sensing, color changing seal or material.

[0006]

EMBODIMENT

In Fig. 1, reference numeral 1 designates a bottle filled with beer or brewed sake (a Japanese alcoholic liquor), 2 a label of the bottle, 3 a seal which senses the temperature degree for changing color, and in Fig. 2, reference numeral 4 designates a can filled with beer, 5 a brand coated or printed onto the can, and 6 a color changing material which senses the degree of its temperature and changes its color.

Fig. 3 is an enlarged view of the example of the seal 3 in Fig. 1 or the color changing material 6 in Fig. 2, and it indicates in three stages the temperature by utilizing the temperature sensing, color changing material.



BEST AVAILABLE COPY

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平5-10243

(43)公開日 平成5年(1993)2月9日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	府内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 5 D 23/16		2330-3E		
B 6 5 C 3/00		9146-3E		
B 6 5 D 25/20	K	6540-3E		

審査請求 未請求 請求項の数1(全2頁)

(21)出願番号 実願平3-83590

(22)出願日 平成3年(1991)7月15日

(71)出願人 591228373

中元 弘之

東京都目黒区自由が丘3-18-17

(72)考案者 中元 弘之

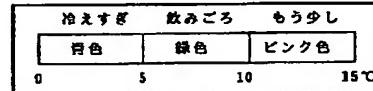
東京都目黒区自由が丘3-18-17

(54)【考案の名称】 飲料容器

(57)【要約】

【目的】 この考案は、飲料容器の表面に 温度の高低度合を感温して変色するシール又は塗料状の変色材が貼り付けられるか又は塗布される容器に関するものである。

【構成】 ピン(1)や かん(4)の表面又はラベル(2)や印刷銘柄(5)の上に、感温変色シール(3)や感温変色材(6)を設ける。



3 感温変色シール
又は 6 感温変色材

BEST AVAILABLE COPY

(2)

実開平5-10243

1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】 飲料容器の表面に温度の高低度合を感温して変色するシール又は塗料状の変色材が貼り付けられるか又は塗布されることを特徴とする飲料容器。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本考案の斜視図である。

【図 2】 本考案の斜視図である。

【図 3】 変色シール（3）又は変色材（6）の拡大図。*

2

* 【符号の説明】

1 はピン

2 はラベル

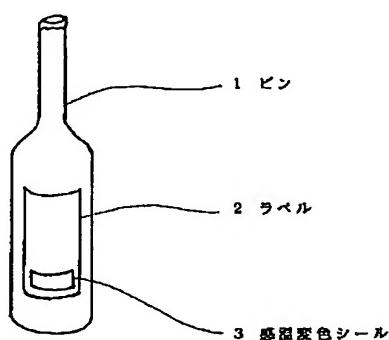
3 は感温変色シール

4 はかん

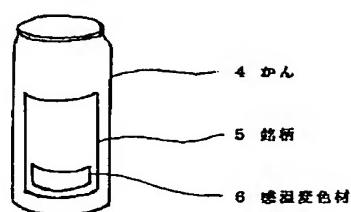
5 は銘柄

6 は感温変色材

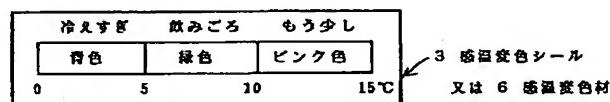
【図 1】



【図 2】



【図 3】



BEST AVAILABLE COPY

(3)

実開平5-10243

【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

この考案は、例えばビールや冷用酒の瓶又はかんの表面に、利用者がその温度状態を一目で分かるように温度の高低度合を感温して変色するシールや塗料状の変色材が貼り付けられるか又は塗布された飲料容器に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

近年醸造飲料業界では原材料の選択・処理にはじまり醸酵から濾過などのプロセス改良により製品の品質向上に目覚ましい努力が払われており、更に商標の工夫も加わり愛好者の嗜好に十分応えつつある。このような高品質の商品を賞味する為には利用する時の温度が極めて大切で、その証拠に商品の収納箱やパンフレットやラベルに利用時の最適温度がしばしば表示されている。

従来は利用者が冷蔵庫の温度を適切に維持することにより間接的に最適温度にしようと努めていた。しかしこの方法は間接的であるが故に、例えば冷蔵時間が短い場合は触感で冷却状態を知るしかなく、折角の賞味嗜好に不便を感じていることが多い。業者側にとっても折角の高品質の商品を市場に提供していくながら上述の如く利用者に充分賞味して貰えないという欠点があった。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】

本考案はこのような欠点を解消するために考案されたもので、飲料容器の表面に温度の高低度合を感温して変色するシール又は塗料状の変色材が貼り付けられるか又は塗布された飲料容器を提供しようとするものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】

いま、その解決手段を図面を追しながら説明すれば、

(イ) ビン1のラベル2の上に、感温変色シール3を貼り付ける。

(ロ) かん4の塗布又は印刷された銘柄5の上に、感温変色材6を塗布する

。

【0005】

【作用】

本案は以上のような容器であるから、これを冷蔵庫に入れると感温変色シール3又は感温変色材6は温度状態に応じて変色する。

【0006】

【実施例】

図1の1はビールや吟醸酒を詰めた瓶、2は瓶のラベル、3は温度の高低度合を感温して変色するシール、図2の4はビールを詰めたかん、5はかんに塗布又は印刷された銘柄、6はその上に塗布された温度の高低度合を感温して変色する変色材である。

図3は、図1の3又は図2の6の例を拡大したもので、感温変色材を利用することにより温度を3段階表示したものである。

尚、本考案例には飲料としてビールや吟醸酒を用いたがこれに限るものではなくワインや清涼飲料水であってもよい。又、容器として瓶やかんを用いたがこれに限るものではなく紙箱やプラスチック製であってもよい。変色表示の段階数や色調や形も本考案例に限るものではない。

このように、本考案は広範囲に適用しうるものである。

【0007】

【考案の効果】

ビールは9℃前後が最適賞味温度とされておりこれより高いと味わいが減少し低すぎても味覚が低下してしまう。

製造業者は3や6の変色シールや変色材を容易に入手することができ、貼り付けや塗布作業も容易に行なうことができる。

本考案によれば、製造業者は利用者に高品質な商品を十分賞味して貰うことができ、又利用者も最適賞味温度を直接的に一目で判別できる利点があり、双方にとって利益は大である。